

2017年1月4日

三菱レイヨン株式会社 社長 越智 仁 2017年 年頭挨拶 (要旨)

三菱レイヨン株式会社

日本経済は、安倍政権による経済活性化に向けた諸施策により過去の危機的状況から脱しつつあるように見える。しかし、世界の経済は「低成長」という新たなフェーズにある中、政治情勢は保護主義に傾倒するリスクを抱えるなど不透明感もあり、日本経済の先行きも見通し難い状況が続いている。

本年は当社が創業して84年目を迎えるが、三菱レイヨンとして区切りをつけ、この4月に三菱化学、三菱樹脂と統合し「三菱ケミカル株式会社」が発足する。これから三菱ケミカルとして追求すべきことを含めて次の5点を皆さんに意識してほしい。

1. 保安・安全の強化

これまでも労災やトラブルに対しては徹底的に真因究明を行い、4M 変更時の安全性の評価の推進やTPM活動・生産革新などの着実な活動を行ってきたが、改めて不具合について徹底的に追及・改善し、事故ゼロを達成してほしい。

2. 「MMA 一本足」からの脱却に向けたポートフォリオ改革

各事業はマーケットに対し、さらにもう一步、二歩前に踏み込んで深くアクセスすることで情報を取り込み、事業開発を進めていく必要がある。

3. グローバル体制の強化

MMA ではルーサイトと当社に共通する事業を一体運営し、また、各リージョンにおけるマーケティング力強化のためのテクニカルサービス体制の構築も進めてきた。今後、各リージョンでのマーケティング力を活かして、顧客ニーズに沿った商品開発と販売体制を構築し収益を高めていく必要がある。

4. コミュニケーションの強化と人を活かす経営

もっと活力のある、創造力のある人づくり・組織作りを進めたいと考えており、こうした観点から健康経営を積極的に推進していきたい。個々人の心身の健康を維持向上させ、組織の働き方・職場環境を改善して、皆さんが満足感のある活動にしていく。

5. 化学系3社統合による新たな成長の加速

世界は新たな技術革新のもと、大きく変わろうとしており、恐らくここ5年のうちに社会や市場は画期的に変化するだろう。来る時代の変化を見据え、これに即応すべき我々の未来に対する責任は重く、一方でこの変化の荒波を着実に捉えることで明るい未来を勝ち取ることができる。

企業の最大の財産は人である。皆さん一人一人が三菱ケミカル株式会社の統合効果を最大化させる、まさにその原動力なのである。今後の大きな飛躍に向けて、ともに力強い一步を踏み出そう。

皆さんが、今年一年素晴らしい成果を生むとともに、健康でますます発展されることを祈念して、新年の挨拶とさせていただきます。

本件に関するお問い合わせ先
(株)三菱ケミカルホールディングス 広報・IR室
電話:03-6748-7140